

人推協連ニュース

発行：大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会
事務局：大津市教育委員会生涯学習課内 TEL：528-2635
No. 42 令和2年6月26日発行

令和2年度 人推協連体制決定

会長	木下 順造（小野学区会長）
副会長	寺田 佳弘（堅田学区会長）
事務局長	中西 万三（南郷学区会長）
運営委員	松井 一幸（小松学区会長）
	加藤 彰三（仰木の里学区会長）
	加藤 富雄（下阪本学区会長）
	田村 靖二（逢坂学区会長）
	田中 宏和（田上学区会長）
	山本 和好（瀬田東学区会長）
監事	田中 清司（真野学区会長）
	初田 茂（瀬田学区事務局長）

事務局長 戸田 愛弓
（敬省略）

新型コロナウイルス
感染拡大防止の観点から、書面議決となりました。



地域かかわり隊

滋賀県人権教育研究大会（栗東大会）分科会にて活動報告



令和元年10月20日栗東市立葉山中学校で、滋賀県人権教育研究大会が開催された。地域かかわり隊は分科会で、『みんなで考える人権学習の取り組み』と題し、実践に取り組んで感じた楽しさ、やりがい、歯がゆさ、難しさについて報告した。その後ワークショップ（参加型体験学習）形式で、「日頃人権学習を進める中で思っていること」をテーマに話し合いをした。

「公民館のコミュニティセンター化」問題 人推協連の存続をかけた決議

平成31年2月大津市は、「市民センター機能等のあり方」実施案を公表した。各地域人推協からは、公民館や生涯学習専門員が廃止されると、行政と地域をつなぐ機能がなくなり、人権学習活動が

出来なくなる地域が現れることを懸念する意見が、令和元年度の総会で多く出された。このことを受け、7月22日に臨時総会を開催し、「大津市立公民館の存続及び生涯学習専門員の継



令和元年度 臨時総会の様子

続配置」を求める請願書を提出するところが決議された。しかし提出目前の8月22日に、市議会公共施設対策特別委員会より、「公民館のコミュニティセンター化及び自主運営の実施について」が出され、生涯学習専門員

を配置することが示されたため、請願を提出する整合性が取れなくなり、提出には至らなかったが、人推協連のこの動きも行政側に伝わっていることが、影響を与えたとと思われる。

全講座無料

令和2年度 人推協連主催人権講座予定

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、急きょ中止になる可能性があります。そのため、**必ず事前申し込み**をお願いいたします。尚最新情報は、大津市ホームページでもご確認いただけます。

<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/070/2403/g/jinkenshougai/1403145090490.html>

人推協連 大津市

検索



9月17日(木) 津止正敏氏

「1嫁・2妻・3娘」であった介護者の世界は激変し、近年は男性の介護者が増え、しかも、在宅介護の3割超が「老老介護」です。超高齢化社会の今、「介護のある暮らし」こそが、人生をより豊かにしてくれるという視点の『生き方モデル』についてお話いただきます。

10月8日(木) 森康彦氏

少年院などからの退院者の自立支援のために、「NPO法人ホザナ・ハウス」を設立された暴力団組員という異色の経歴を持つ森さん。現在の公的支援制度の空白部分でさまよう子どもたちに、どのように寄り添い傷を癒し、自立を促してこられたかをお話いただきます。

10月21日(水) NPO法人人身取引被害者サポートセンターラオハウス

命に値段が付けられ、命が売られ、売られた後は様々な形の暴力や搾取に晒される。それが人身売買です。**無関心ではなく、被害にあい苦しむ人たちに、手を差し伸べられる社会を目指し、性的搾取など日本での人身取引の実態をお話いただきます。**

11月6日(金) 吉田泰之氏 川辺勉氏

膳所ふれあいセンター所長の吉田氏と元栗津中学校校長の川辺氏が、同和施策が一般施策化されるまでの経緯等、大津市の同和問題に対する取組の歴史をお話いただきます。**様々な人権問題に対する時の、根本的な考え方を聞くことができます。**

12月12日(土) 柏原由樹氏

「発達障がい児の内面の光（個性の光）」を輝かせることを目指されています。物質的な目に見える形での改善の成果は勿論のこと、『**保護者や周りの介助者のほんのわずかな思考のシフトによって“すべて”が良い方向に向かって動き出すとしたら…**』これまで取り組んでこられた体験を基にお話いただきます。

令和3年1月25日(月) 映画上映 「ママやめでもいいですか!?!」

「ママの子育て」にスポットをあて、“産後うつ”や“孤独な子育て”、“夫婦のすれ違い”など、**命を生み育むことの難しさや苦悩、そして、その喜びと偉大さ**をありのままにお伝えします。観る人が温かい涙と笑顔ともに、早くおうちに帰って子どもを抱きしめたいくなるような内容の作品です。

令和3年2月27日(土) 川村妙慶氏

真宗大谷派僧侶で番組のパーソナリティ、ナレーション、司会を務めるアナウンサーをされています。仏教の視点から、ブログ「僧侶でアナウンサー川村妙慶日替わり法話」を毎日更新されています。**考えや見方を逆さまにすることで全く違う世界が見えてくる、そんなお話をしていただきます。**

※ テーマ等については、今後講師と調整し変更する場合があります。
尚、令和3年2月16日(火)には、人権・男女共同参画課主催の人権講座を開催予定です。